

施策体系

基本方針	6	産業の健幸	施策名	23	農業の振興
------	---	-------	-----	----	-------

施策統括部	産業振興部	関係課	商工振興課、農業委員会
施策主管課	農政課		

1 施策の評価指標

成果指標		単位
A	認定農業者数	人
B	生産農業所得（認定農業者1戸あたり）	万円
C	認定農業者の法人化率	%
D		

2 指標等の推移

成果指標	R4年度実績値	数値区分	6年度	7年度	8年度	9年度	評価	背景として考えられること
A 人	258	目標値	262	264	266	268	○	新規就農者並びに市外在住の農業者を認定した件数により増加となっています。今後は高齢化、高齢者の離農等の理由により減少が考えられます。
		実績値	274					
B 万円	612	目標値	619	626	633	640	○	米をはじめ、農作物の単価があがったことが要因です。一方、高齢化や後継者不足、生産資材価格の高騰、気候変動など様々な課題があります。
		実績値	692					
C %	21.7	目標値	22.0	23.0	24.0	27.0	△	地域の農業団体を法人化に移行し、農業の効率化を目指していますが、高齢化等の理由により設立までに至っていません。一方、個別の法人化は微増傾向にあります。
		実績値	21.5					
D		目標値						
		実績値						

※【評価】 ○；目標達成 △；目標をほぼ達成（-5%） ×；目標を未達成

事務事業数・コスト		6年度	7年度	8年度	9年度	
事務事業数		本数	40			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	13,241		
		都道府県支出金	千円	203,011		
		地方債	千円			
		繰入金	千円			
		その他	千円	4,728		
		一般財源	千円	132,752		
事業費計		千円	353,732			

3 施策の現状・住民意見等

①施策の現状（第1期基本計画策定当初）と今後の状況変化

- 農業、農村構造が変化しており、農業者の減少と高齢化が進んでいます。また農地は、住宅や店舗等の広がりにより混在化しています。
- 営農支援員を配置し、新規就農者へ営農指導や農作物のブランド化に取り組んでいます。
- 農業用施設については、令和6年度よりデータ化による整理を行いました。
- 農地などに影響を与える道路整備計画等(地域高規格道路や住宅開発など)の情報収集を行っています。
- 国内では、家畜伝染病の発生や鳥獣被害が増加しています。
- 稼げる農業の基盤づくりとして、関係機関(商工部門、農研機構、包括連携協定団体など)と連携し、6次産業化及び農商工連携の推進やブランド化に取り組んでいます。

②この施策に対して住民（対象者、納税者、関係者）、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- 開発行為と優良農地保全のバランスを取ること。
- 気候温暖化により農業を取り巻く環境が大きく変わりつつある。農業者の意欲の低下や経営の不安定が心配される。国や県と連携し情報の収集に努めること。
- 産業振興基金等の積み立てを実施し、非常時の支援体制を確立すること。
- 「龍門ダムの水」という素晴らしい恩恵を活かし、農業の取組をアピールし、新規就農者の拡大を図ること。

(令和6年度(令和5年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- 農地集約を加速させ農業経営が維持できるよう努めること。
- 物価高騰が続く中、農業所得が向上するよう支援すること。
- 農業者が気候変動に対応できるよう研究機関と連携した取り組みをすること。
- 新規就農に繋がるよう、農地のマッチングをすること。
- スマート農業を推進すること。

4 施策の評価

①施策の振り返り（経営方針の達成度等）

令和6年度経営方針からの振り返りは以下のとおりです。

①【地域の農業を支えていく担い手の効率的な農地利用や、農地の集積・集約に向けて、地域や関係団体と連携し、地域計画(人・農地プラン)の策定を進めます。また、農作業の自動化や省力化のため、スマート農業への取り組みを支援します。】については、令和2年度に市内を11地区に分けて人・農地プランの実質化を行い、その後は検討会において新たな中心経営体の位置づけ等を行ってきました。令和6年度は、地域計画を2地区策定しました。また、スマート農業への取り組みの支援につきましては、令和5年度より補助事業を創設し支援体制を強化しました。

②【合志地域の集落営農組織をはじめ、農業法人化を推進します。】については、定期的に法人化の対策会議を開催し、法人化要件の確認についてなど農業団体(JA)や既農業法人と連携し設立に向けた話し合いを行いました。今後も継続して推進を行います。

③【地域の農商工団体及び企業が参画する協議会との連携を図りながら、農業への企業等の参入や、農福商連携、地産地消、6次産業化をさらに推進します。また、本市農産物の販売促進を行います。】については、甘藷農家と協力し、焼酎の特産品作りを行いました。

④【農地などに影響を与える道路や開発計画等については、課題を分析し、営農への影響を最小限にするため関係団体との協議を行います。また、開発等に伴い減少した農地について、近隣市町等も含めた広域的な対策の協議を行います。】については、中九州横断道路や県道多車線化に対する国・県との協議や製造業等の民間開発に対する協議に対して、関係機関(土地改良区等)及び農業者の意見・要望を最大限に反映するよう依頼し、丁寧な説明と対応を行うよう協議を行いました。

⑤【新規就農者をはじめ、農業者への社会情勢に応じた支援策の検討や経営指導、営農指導を引き続き実施します。】については、新規就農者支援として従来からの「就農奨励金交付事業」に加え、国の新規就農者支援事業に該当しない親元就農等を行った新規就農者に対しての支援事業を行いました。また、国制度の「農業次世代人材投資資金」の交付を行い、営農指導員を配置し、認定新規就農者への圃場巡回等によるサポート、県主催の研修案内等を行いました。燃料や肥料、飼料等の高騰対策としまして農業者への支援を行いました。

②施策の課題（令和6年度の施策の振り返りから見る課題）

- 多彩な担い手(新規就農者、農業に参入する企業など)の育成・確保が必要です。
- 農業経営効率化のため農地の集積、集約化を図るとともに、農作業負担の軽減に向けてスマート農業の推進を図る必要があります。
- 消費者からは、安全で安心できる高付加価値の農産物を生産することが求められています。
- 農地などに影響を与える道路や開発計画等に対しては、早い段階からの調整や協議が必要です。
- 家畜伝染病に備えた防疫体制を確立し、発生を抑えるための農家への啓発が必要です。
- 鳥獣被害対策は、市民への迅速な情報提供及び熊本県や警察署との連携が必要です。
- さらなる6次化産業、農商工連携を進めるため、ブランド化や特産品の創出及び販路拡大が急務です。
- 農商工連携を強化するため、企業（加工業者等）と農業者を結びつける機会を設ける必要があります。

5 施策の令和6年度結果に対する審査結果

①政策推進本部での指摘事項（施策目標達成度評価結果報告を受けて令和7年7月23日）

- 関係機関と連携し新規就農者や企業の就農を増やし、持続可能な農業を支えるためのサポートを行うこと。
- 農地を効率的に利用するため、地域計画に則した農地の集積・集約化を促進すること。
- 異常気象に対応した品種の切り替え、環境コントロール、スマート農業の導入の推進を行うこと。また、環境の変化に左右されない植物工場など、新たな農業の可能性についても調査研究を行うこと。
- 6次産業化、農商工連携を進めるため、ブランド化や特産品の創出及び販路拡大を行うこと。

②総合政策審議会での指摘事項（令和7年7月31日、8月6日のまとめ）

- 農家及び新規就農者への支援の拡充を図ること。
- 農道、農地の計画的な整備を行うこと。
- 6次産業化の支援を行うこと。

③議会の行政評価における指摘事項（令和7年9月1日）

- 異常気象に対応した品種の切り替え、スマート農業の推進などの、農業施策にあたっては、認定農業者で10年～20年の中堅農家の意見を十分に取り入れ、慎重に実施すること。
- 異常気象や物価高騰の影響で、経営が不安定になり農業へのモチベーションが低下しないよう柔軟な支援を行うこと。
- 道路建設により不整形となる圃場の残地について、国と県と連携し、再整備の実施に取り組むこと。
- 地域計画において、一筆ずつの耕作予定者の用途は立っているか。特別な事情があることから、国と連携し集約化を推進すること。

6 次年度に向けた取り組み方針

○政策推進本部 令和8年度合志市経営方針（令和7年10月10日）

- ① 営農継続に向け、地域計画を活用して経営農地の集積・集約化を目指します。
- ② スマート農業による省力化と効率化を図り、持続可能な農業の推進に努めます。
- ③ 気候変動に適応する生産安定技術・新たな品種開発・普及等を推進するため、国や県と連携し、情報の収集に努めます。
- ④ 持続可能な力強い農業を実現するため、経営資金の支援や耕作農地の斡旋等を通じて、担い手の育成および新規就農者確保に努めます。
- ⑤ 新たな特産品開発については、種苗メーカーや農業法人等と連携し、実証を行っていきます。また、ブランド品の磨き上げについては、メディア等を活用し、広く情報発信に努めます。